

食品安全委員会の運営について（令和7年1月～令和7年3月）

1. 食品安全委員会の開催

1月：968回・969回・970回（3回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（4品目）

動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（フォーセリス注射液）（1/14） ・ ケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ケトフィス）（1/14） ・ 塩酸ロメフロキサシンを有効成分とする馬の点眼剤（ロメワン）（1/28）
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Trichoderma reesei</i> RF6199 株を利用して生産されたペクチナーゼ（1/14）

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（4品目、1案件）

農薬（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロパモカルブ（1/21） ADIを0.12 mg/kg 体重/日、ARFDを0.2 mg/kg 体重と設定 ・ ペントキサゾン（1/21） ADIを0.23 mg/kg 体重/日と設定、ARFDは設定する必要がないと判断
器具・容器包装（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全性審査の手続の導入及び第一種特定化学物質の取扱いの変更に伴う食品衛生法（昭和22年法律第233号）第18条第1項の規定により定めた器具及び容器包装の規格基準の改正（1/14） 1つ目の安全性審査の手続の導入については、器具又は容器包装に使用される物質について、安全性審査の手続を受けた物質を個別に公表することで物質を規定する仕組みを導入するための改正であり、当該施策は、食品健康影響評価の結果を反映して定めるべき性質のものではないこと 2つ目の第一種特定化学物質の取扱いの変更については、化審法第55条第1項により適用除外される容器包装に係る食品衛生法の規定を実質的に補完し、器具又は容器包装の原材料として、化審法第2条第2項に規定する第一種特定化学物質の使用を一律に禁止する規制を食品衛生法においても実装するものであり、本改正によって人の健康に影響を及ぼすものではないと考えられること から、食品安全基本法第11条第1項第1号に規定する食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当すると認められる。

<p>遺伝子組換え食品等（2品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP51291）（食品）（1/21） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u> ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP51291）（飼料）（1/21） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u>
-----------------------	---

（3）その他

- ・「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～アニサキス～」に関する審議結果の報告について（1/21）
- ・遺伝子組換え食品等評価書「コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）」の一部訂正について（1/21）

2月：第971回・972回・973回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（8品目、2案件）

<p>農薬（5品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピラジフルミド（2/4） ・フルアジナム（2/4） ・フルキサメタミド（2/4） ・フルピリミン（2/4） ・メピコートクロリド（2/4）
<p>遺伝子組換え食品等（3品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JPAo013株を利用して生産されたホスホリパーゼ（2/18） ・除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ MON94313 系統（食品）（2/18） ・除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ MON94313 系統（飼料）（2/18）
<p>有機フッ素化合物（PFAS）（2案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道により供給される水の水質基準の設定について（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA））（2/18） ・ミネラルウォーター類の規格基準の設定について（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA））（2/18）

--	--

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（7品目、2案件）

<p>農薬（5品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピラジフルミド（2/4） ADIを0.021 mg/kg 体重/日、ARfDを1.6 mg/kg 体重と設定 ・フルアジナム（2/4） ADIを0.01 mg/kg 体重/日、一般の集団に対するARfDを0.5 mg/kg 体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.02 mg/kg 体重と設定 ・フルキサメタミド（2/4） ADIを0.0085 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断 ・フルピリミン（2/4） ADIを0.011 mg/kg 体重/日、ARfDを0.08 mg/kg 体重と設定 ・グルホシネート（2/4） ADIを0.0091 mg/kg 体重/日、ARfDを0.01 mg/kg 体重と設定
<p>動物用医薬品（1品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラレトリン（2/18） ADIを0.025 mg/kg 体重/日と設定
<p>遺伝子組換え食品等（1品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CRC2836-13885 LVS_ETD MB#2株を利用して生産されたフィターゼ（2/4） 「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき食品健康影響評価を実施した結果、遺伝子組換え体由来の新たな有害物質が生成され、肉、乳、卵等の畜産物中に移行する可能性、遺伝子組換えに由来する成分が畜産物中で有害物質に変換・蓄積される可能性及び当該成分が家畜の代謝系に作用し、新たな有害物質を産生する可能性はないと考えられることから、改めて「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」に準じて評価する必要はなく、当該飼料添加物を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。
<p>有機フッ素化合物（PFAS）（2案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道により供給される水の水質基準の設定について（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA））（2/18） 食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行った結果を踏まえ、食品安全基本法第12条に基づき新たに適切な基準が設定されると認められるものであることから、人の健康に悪影

	<p>響を及ぼすおそれはないと考えられた。したがって、同法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。</p> <p>・ミネラルウォーター類の規格基準の設定について（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA））（2/18）</p> <p><u>食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行った結果を踏まえ、食品安全基本法第 12 条に基づき新たに適切な基準が設定されると認められるものであることから、人の健康に悪影響を及ぼすおそれはないと考えられた。したがって、同法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。</u></p>
--	--

(3) その他

- ・食品安全委員会の運営について（令和 6 年 10 月～令和 6 年 12 月）報告（2/4）
- ・令和 6 年度食品安全委員会緊急時対応訓練結果及び令和 7 年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画について決定（2/18）
- ・令和 6 年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件について決定（2/18）
- ・令和 6 年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果並びに令和 7 年度食品健康影響評価技術研究の採択課題（案）及び事前評価結果について（2/18）
- ・令和 7 年度食品安全確保総合調査課題（案）について（2/18）
- ・食品安全委員会が既に食品健康影響評価を有している抗菌性物質である動物用医薬品及び飼料添加物について、食品安全基本法第 24 条の規定に基づき意見を求められた場合の微生物学的 ADI に係る食品健康影響評価の取扱いについて（2/18）

3 月：第 974 回・975 回・976 回・977 回（4 回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（10 品目、1 案件）

添加物（1 品目）	・グルコン酸銅（3/25）
農薬（5 品目）	・アラクロール（3/11） ・イソフェタミド（3/18） ・オキサゾスルフィル（3/18） ・ポリオキシシン複合体（3/18） ・メプロニル（3/18）
農薬及び動物用医薬品（2 品目）	・オキシリニック酸（3/18） ・ブロフラニリド（3/18）
動物用医薬品（1 案件）	・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（L-グルタミン酸カリウム、マルトース）（3/11）
遺伝子組換え食品等（2 品目）	・AH-No.1 株を利用して生産された L-カルノシン（3/11） ・ILE-No.2 株を利用して生産された L-イソロイシン（3/11）

--	--

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (9 品目、4 案件)

<p>添加物 (1 品目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グルコン酸亜鉛 (3/25) <u>平成 27 年に「総合栄養食品」を使用対象に追加する趣旨で使用基準を改めた際に、「総合栄養食品」が法令上の用語ではなかったため、使用基準における対象食品を「病者用」の食品としていたところ、今般関係する内閣府令において「総合栄養食品」が定められたことから、該当する記載を改正するものであり、食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 11 条第 1 項第 1 号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当すると認められた。</u>
<p>農薬 (3 品目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クロフェンテジン (3/11) <u>ADI を 0.017 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断</u> ・ イソフェタミド (3/18) <u>ADI を 0.053 mg/kg 体重/日、ARfD を 3 mg/kg 体重と設定</u> ・ ポリオキシン複合体 (3/18) <u>ADI を 2.5 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断</u>
<p>農薬及び動物用医薬品 (1 品目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロフラニリド (3/18) <u>ADI を 0.017 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断</u>
<p>プリオン (2 案件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 (3/18) <u>ベルギーから輸入される牛の肉及び内臓の輸入条件について、①月齢制限を現行の「輸入禁止」から「月齢条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。また、② SRM の範囲を現行の「輸入禁止」から「全月齢の扁桃及び回腸 (盲腸との接続部分から 2 メートルの部分に限る。) 並びに 30 か月齢超の頭部 (舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。)、脊髄及び脊柱」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</u> <u>ベルギーから輸入されるめん羊及び山羊の肉及び内臓の輸入条件について、現行の「輸入禁止」から「SRM の範囲を、12 か月齢超の頭部及び脊髄並びに全月齢の脾臓及び回腸 (扁桃を含み、舌、頬肉及び皮を除く。）」とし、SRM を除去したもの」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</u> ・ 普通肥料の公定規格等の一部変更 (3/18) <u>牛等の特定部位等の肥料への混入防止及び牛等由来肥料の</u>

	<p>牛、めん羊、山羊及び鹿による摂取防止の確実な実施を前提とする限りにおいては、当該肥料が人の健康に及ぼす影響が変わるものではないと判断され、食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。</p>
<p>遺伝子組換え食品等（2 品目、2 案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <p>・ JPTR004 株を利用して生産されたセルラーゼ（3/11） 「<u>遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針</u>」に基づき、宿主の安全性、挿入 DNA 及び供与体の安全性、挿入 DNA 及び挿入 DNA と宿主ゲノムとの境界領域から生じる可能性のあるタンパク質の毒性及びアレルギー誘発性等について確認した結果、従来の添加物と比較して新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められなかった。 <u>以上のことから、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・ LDN487 株を利用して生産されたプルナーゼ（3/11） 「<u>遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針</u>」に基づき、導入遺伝子の供与体、導入される塩基配列が明らかであること等の導入遺伝子の安全性、導入遺伝子から産生されるタンパク質の毒性及びアレルギー誘発性等について確認した結果、従来の添加物と比較して新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められなかった。 <u>以上のことから、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・ 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づき組換え DNA 技術応用飼料及び飼料添加物の安全性に関する確認の手続を定める件（平成 14 年農林水産省告示第 1780 号）の改正（3/25） <u>農林水産省の農業資材審議会において家畜への健康影響を審査する際の提出資料に関する規程であり、食品健康影響評価の結果に基づき施策を策定するという手法になじまないものであることから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 11 条第 1 項第 1 号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当すると認められた。</u></p> <p>・ 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づき、組換え DNA 技術応用飼料及び飼料添加物の製造基準を定める件（平成 14 年農林水産省告示第 1782 号）の改正（3/25） <u>組換え体が意図せず飼料または飼料添加物に混入しないように製造することができる設備を有することを要件とする改正及び他法令で既に規定されている組換え微生物の拡散防止を目的とする項目の削除であり、食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らか</u></p>

	であるとき」に該当すると認められた。
飼料添加物（1品目）	・安息香酸を有効成分とする飼料添加物（3/18） 飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。
食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして内閣総理大臣が定める物質（対象外物質）（1品目）	・安息香酸（3/18） 飼料添加物としての評価においては ADI を考慮する必要は特段なく、飼料添加物として通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えた。

（3）その他

- ・食事由来の化学物質のばく露評価ワーキンググループの設置について（案）（3/4）
- ・企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況について報告（3/4）
- ・ファクトシート（アレルギーを含む食品（そば、えび、かに））の作成について報告（3/11）
- ・令和7年度食品安全モニターの依頼について（3/18）
- ・令和7年度食品安全委員会運営計画について決定（3/25）
- ・家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正について決定（3/25）
- ・食品を介して人の健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正について決定（3/25）
- ・器具・容器包装専門調査会で調査審議されていた案件の取扱について（3/25）

2. 専門調査会等の運営（全29回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・令和7年度食品安全委員会運営計画（案）について、令和6年度食品安全委員会緊急時対応訓練の実施結果及び令和7年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画（案）について、令和6年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について（2/6）
添加物	3回	・亜硫酸ナトリウム、次亜硫酸ナトリウム、二酸化硫黄、ピロ亜硫酸カリウム及びピロ亜硫酸ナトリウム（1/17） ・亜硫酸ナトリウム、次亜硫酸ナトリウム、二酸化硫黄、ピロ亜硫酸カリウム及びピロ亜硫酸ナトリウム並びに亜硫酸水素アンモニウム水（2/10、3/10）
農薬第一	3回	・クロルタールジメチル（1/20） ・チアメトキサム（2/13）

		<ul style="list-style-type: none"> ・クロチアニジン (2/13、3/14) ・イミダクロプリド (3/14)
農薬第二	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミル (1/27、3/3、3/26) ・クロフェンテジン (1/27) ・スピロジクロフェン (3/3)
農薬第三	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・チアジニル (3/7)
農薬第四	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・キノクラミン (1/10) ・ベンジルアデニン (2/14、3/12) ・マンジプロパミド (3/12)
農薬第五	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・フィプロニル (1/9) ・スピロピジオン (2/6)
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・イミダクロプリド (2/3) ・ピペロニルブトキシド (2/3、3/24) ・ワクチン添加剤 (3/24) ・トルトラズリル (3/24) ・グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤 (フォーセリス注射液) (3/24) ・ケトプロフェン (3/24) ・ケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤 (ケトフェイス) (3/24)
器具・容器包装	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ビスフェノール A の現状について (2/3)
プリオン	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し (SRM の範囲) に係る食品健康影響評価 (3/27)
遺伝子組換え食品等	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組換え食品等の食品健康影響評価に関する技術的文書 (改正案) の検討 (1/29) ・コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON95275 系統 (食品・飼料) (1/29) ・<i>Trichoderma reesei</i> RF6199 株を利用して生産されたペクチナーゼ (1/29) ・JPAo013 株を利用して生産されたホスホリパーゼ (2/28) ・除草剤グルホシネートジカンバ、アシルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ MON94313 系統 (食品・飼料) (2/28) ・AH-No.1 株を利用して生産された L-カルノシン (3/24) ・ILE-No.2 株を利用して生産された L-イソロイシン (3/24)
肥料・飼料等	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全委員会が既に食品健康影響評価を有している抗菌性物質である動物用医薬品及び飼料添加物について、食品安全基本法第 24 条の規定に基づき意見を求められた場合の微生物学的 ADI に係る食品健康影響評価の取扱いについて (2/5) ・安息香酸 (2/5) ・安息香酸を有効成分とする飼料添加物 (2/5)

		<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Trichoderma reesei</i> RF5427 株を利用して生産されたキシラナーゼを原体とする飼料添加物 (2/5、3/14) ・ ジニトルミド (3/14) ・ 塩酸ロメフロキサシンを有効成分とする馬の点眼剤 (ロメワン) (3/14)
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「食品を介して人の健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて」の改正について (ランク変更の抗菌性物質とその理由の整理) (2/17)
評価技術企画ワーキンググループ	1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価技術企画ワーキンググループにおける「評価支援チーム」の構築 (1/20) ・ 「(Q)SAR 変異原性評価支援チーム」及び「BMD 法評価支援チーム」の構築及び名簿の整備 (1/20)

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣 (全8回、うち委員等7回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
1 / 17	栃木県	食の安全に関するリスクコミュニケーション in 県庁 (脇シニアフェロー)	栃木県	一般消費者
1 / 30	北海道	NPO 北海道バイオ産業振興協会 冬期講演会 (事務局)	NPO 北海道バイオ産業振興協会	学生、試験研究機関関係者、行政職員等
2 / 3	群馬県	令和6年度群馬県食品安全セミナー (杉山委員)	群馬県	一般消費者
2 / 3	千葉県	ふなばし食の安全・安心フォーラム (脇シニアフェロー)	船橋市	一般消費者
2 / 13	オンライン開催	食品の安全性に関する WEB 講演会 (脇シニアフェロー)	仙台市	一般消費者、事業者、行政職員
2 / 17	長野県＋オンラインハイブリット開催	食の安全学習会 (健康食品等) (脇シニアフェロー)	生活協同組合コープなごの	主催団体組合員、行政職員等
2 / 19	京都府＋オンラインハイブリット開催	令和6年度食に関するセミナー (第3回) (脇シニアフェロー)	農林水産省	一般消費者
2 / 21	オンライ	大学院薬学研究科講義	城西大学	大学院生、教

	ン開催	(浅野委員)	員
--	-----	--------	---

(2) 意見交換会等 (全4回)

開催日	内容	共催団体	対象
1 /31	報道関係者との意見交換会「アニサキスのリスクプロファイル」について (山本委員長、松永委員、事務局)	—	報道関係者
2 /12	食品安全・オンラインセミナー「アニサキスのリスクプロファイル」 (山本委員長、松永委員、事務局)	—	一般消費者
2 /15	令和6年度食の安全安心に向けたリスクコミュニケーション 食中毒はなぜ起こる？ (山本委員長)	徳島県、消費者庁	一般消費者
3 /10、 17	いわゆる「健康食品」に関する意見交換会 (東京・大阪) (脇シニアフェロー)	消費者庁	一般消費者

(3) 学会ブース出展 (全4回)

開催日	開催地	学会名
1 /30 ~31	静岡県	第41回日本毒性病理学会総会
2 /12 ~14	高知県	第35回日本疫学会学術総会
3 /12 ~13	東京都	日本農薬学会第50回大会
3 /27 ~29	福岡県	日本薬学会第145年会

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 1月：16記事

閲覧数 (Facebook) 22,597人/月、(ブログ) 2,848人/月

投稿日	記事内容
7	【まだまだ募集中！食品安全モニター】
10	【食品安全委員会 1/6～1/10 の公表及び更新事項】

15	1/14に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
16	【締め切り迫る！食品安全モニター】
17	カフェインの摂りすぎに注意しましょう 【食品安全委員会 1/14～1/17 の公表及び更新事項】
22	【明後日まで！食品安全モニター】 1/21に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
23	【明日まで！食品安全モニター】
24	【本日17時まで！食品安全モニター】 【食品安全委員会 1/20～1/24 の公表及び更新事項】
28	【参加募集】令和6年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します
29	1/28に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
30	【アニサキスのリスクプロファイルを公開しました。】
31	【食品安全委員会 1/27～1/31 の公表及び更新事項】 食品安全・オンラインセミナー開催のお知らせ「アニサキスのリスクプロファイル～最新情報を解説！寄生虫アニサキスの特徴とその対策～」

■ 2月：10記事

閲覧数 (Facebook) 38,057人/月、(ブログ) 2,954人/月

投稿日	記事内容
5	2/4に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
7	【食品安全委員会 2/3～2/7 の公表及び更新事項】
14	【食品安全委員会 2/10～2/14 の公表及び更新事項】 「アニサキスのリスクプロファイル」についてオンラインセミナーを開催しました。
19	2/18に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
21	【食品安全委員会 2/17～2/21 の公表及び更新事項】
26	2/25に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 「食品の安全性に関する用語集」をご活用ください。(食品安全委員会 Web サイトで公開中)
28	【食品安全委員会 2/24～2/28 の公表及び更新事項】 【食品安全委員会 企画等専門調査会の専門委員(非常勤)募集】

■ 3月：16記事

閲覧数 (Facebook) 25,235人/月、(ブログ) 3,578人/月

投稿日	記事内容
3	【食品安全委員会事務局 技術参与(非常勤一般職国家公務員)募集】
5	3/4に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
7	【食品安全委員会 3/3～3/7 の公表及び更新事項】
10	ノロウイルス食中毒が多発。食品の衛生に十分注意！
11	アレルギーを含む食品(そば、えび、かに)のファクトシート(科学的知見に

	基づく概要書)を公表しました。
12	3/11に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
14	【食品安全委員会 3/10～3/14の公表及び更新事項】
19	【訪問学習】 昭和女子大学の訪問学習を実施しました
	3/18に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
21	"Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 13, Issue 1 has just been published.
	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 13, No. 1を公開しました。
	【食品安全委員会 3/17～3/21の公表及び更新事項】
26	3/25に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
27	食品安全セミナー「農薬の再評価に係る食品健康影響評価の進展」を開催します
28	【食品安全委員会事務局 技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
	【食品安全委員会 3/24～3/28の公表及び更新事項】

(2) X (旧 Twitter)

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心(共感)の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 1月：8記事

フォロワー 3,211人

投稿日	記事内容
7	【拡散希望】#食品安全委員会 では #食品安全モニター を大募集！食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月24日(金)17時です。
16	【締切間近】#食品安全委員会 では #食品安全モニター を大募集！食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月24日(金)17時です。
17	勉強や仕事でもうひとがんばりというとき、眠気覚ましにカフェインを含む飲物を何気なく手に取ることがあるかも？ でも、カフェインの摂りすぎは、不眠や吐き気など体調不良を起こすことがあるので注意が必要です。 コーヒーは1日3杯までを目安に。 (画像は意見交換会で大学生が考案)
22	【明後日まで】 食品安全委員会では食品安全モニターを大募集！食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？

	応募締切は1月24日(金)17時です。
23	【明日まで】食品安全委員会では食品安全モニターを大募集！食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月24日(金)17時です。
24	【まだ間に合う！本日17時まで】食品安全委員会では食品安全モニターを大募集！食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月24日17時。
30	アニサキスについて、食品健康影響評価のためのリスクプロファイルを公開しました。アニサキス症は、主にアニサキス科の幼虫が人体内で胃や腸などに穿入し、胃腸炎などの症状を引き起こします。また、じんま疹等のアレルギー症状の原因となることもあります。アニサキス食中毒を対策にご活用ください
31	食品安全委員会は2/12(水)14:00～、寄生虫アニサキスの特徴やその対策について解説するオンラインセミナーを開催します。 現在参加者募集中！ 締め切りは2/10(月)16:00。

■ 2月：3記事

フォロワー 3,258人

投稿日	記事内容
14	食品安全委員会はアニサキスのリスクプロファイルを公表し、2/12にアニサキスの特徴やその対策について解説するオンラインセミナーを開催しました。当日の講演動画は以下URLで公開しております。是非ご覧ください。
26	食品安全委員会のWebサイトでは、「食品の安全性に関する用語集」を公開しています。食品安全委員会のリスク評価では専門用語が多く使われています。それらの専門用語を分野ごとにまとめています。食品の安全性に関する情報やニュースなどをより詳しく理解するためには是非ご活用ください。
28	現在、食品安全委員会では、委員会の年間活動計画、基本的事項やリスクコミュニケーション等について調査審議する企画等専門調査会の専門委員（非常勤）2名を募集しています。 受付締切日は、令和7年3月31日(月)必着。 食品の安全性の確保に関心をお持ちの方からのご応募を心よりお待ちしております。

■ 3月：6記事

フォロワー 3,311人

投稿日	記事内容
3	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助などを担当する技術参与を2名募集しています。

	あなたの専門性を生かせる仕事です。 ご応募を心よりお待ちしております。
10	ノロウイルスによる食中毒が多発しています。感染したヒトからの食品の二次汚染の事例が多く報告されています。食中毒を防ぐ基本は「手洗い」です！また調理器具を清潔にすることも忘れずに。また、食品の中心部分を 85℃～90℃で 90 秒間以上加熱しましょう。
11	食物アレルギーについては、日頃からの対策や正確な情報を得ることが大切です。3月11日、アレルゲンを含む食品（そば、えび、かに）のファクトシート（科学的知見に基づく概要書）を公表しました。食物アレルギーのある方やそのご家族などにご覧いただき、お役立ていただければ幸いです。
26	農薬の再評価を通じた農薬の一層の安全性の向上について国民の皆様に関心を深めていただくことを目的として、「農薬の再評価に係る食品健康影響評価の進展～イミダクロプリドの評価書（案）を例に～」という解説資料を Web サイトに公開しました。農薬の再評価制度の理解促進のために是非ご活用ください
27	食品安全委員会は 4/9（水）14:00～、農薬の再評価に係る食品健康影響評価の進展について話題提供するオンラインセミナーを開催します。現在参加者募集中！締め切りは 4/7(月)16:00。 詳細な開催案内は下記 URL をご覧ください。
28	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助などを担当する技術参与を 2 名募集しています。 あなたの専門性を生かせる仕事です。 ご応募を心よりお待ちしております。

食品健康影響評価の審議状況

2025.3.31現在

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和6年 度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和6年 度分	評価終了 注5)
添加物	318	3	7		311	3	
農薬	1459	34	164	5	1290	31	
うちポジティブリスト関係	546		132	1	413		
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43		
動物用医薬品	678	7	14	1	663	6	
うちポジティブリスト関係	140		8		132	2	
器具・容器包装	26	1	1		25	2	
汚染物質等	68				68		3
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	22				22		2
プリオン	72	1	8		64	3	14
かび毒・自然毒	10		1		9		5
遺伝子組換え食品等	407	17	20	2	385	17	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	336	9	15	2	319	19	
うちポジティブリスト関係	142		11		131	10	
薬剤耐性菌	74		8		66		1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルゲンを含む食品に関するWG							1
栄養成分添加物WG	3	1	1		2		
香料WG	7				7		
有機フッ素化合物(PFAS)WG	2	2			2	2	1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		1
合計	3579	75	239	10	3330	83	31

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したものの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6~H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2025年3月31日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 テトラサイクリン系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 マクロライド系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 スルフォンアミド系合成抗菌剤（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ピクシリン） 【再審査】 ■	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液） 【再審査】 ■	1
2005/2/14	厚	農薬 ジコホールー	1
2005/8/5	農	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液） 【再審査】 ■	1
2005/8/5	農	薬剤耐性菌 ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用）） 【再審査】 ■	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆	1
2007/1/12	厚	農薬 ピノキサデン☆	1
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 クロルマジノン☆	1
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆	1
2007/6/5	厚	農薬 スルフェントラゾン☆	1
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン〈一部〉☆	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆	1
2007/12/18	厚	農薬 イソキサジフェンエチル☆	1
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆	1
2008/3/11	厚	農薬 プロディファコウム☆	1
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆	1
2008/3/25	厚	農薬 スルホスルフロン☆	1
2008/3/25	厚	農薬 ピリデート☆	1
2008/3/25	厚	農薬 フッ化スルフリル☆	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆	1
2008/7/8	厚	農薬 クロジナホッププロパルギル☆	1
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	1
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆	1
2009/2/9	厚	農薬 オキシデメトンメチル☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ジクロラン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2009/2/9	厚	農薬 ジノカップ☆	1
2009/2/9	厚	農薬 フェンプロピモルフ☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ベナラキシル☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ホレート☆	1
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等及び農薬 乳酸 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 アスタキサンチン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 β-カロテン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 酒石酸 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 トウガラシ色素 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等及び農薬 乳酸 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 マリーゴールド色素 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 メナジオン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 レチノール (対象外物質) ☆	1
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆	1
2010/9/13	厚	農薬 トリクロピル☆	1
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ジフルフェンゾピル☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ジメチピン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 テルブホス☆	1
2010/11/12	厚	農薬 トリアスルフロン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 パラチオン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ピンクロゾリン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 モノクロトホス☆	1
2010/11/15	農	農薬 テルブホス (飼料中) ☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 メトブレン☆	1
2010/12/10	農	農薬 メトブレン (飼料中) ☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 メトブレン☆	1
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆	1
2011/2/10	厚	農薬 クロリムロンエチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬 ジスルホトン☆	1
2011/3/25	厚	農薬 プロモキシニル☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン-	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル (飼料中) ☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆	1
2011/9/22	厚	農薬 アミノピラリド☆	1
2011/9/22	厚	農薬 イオドスルフロンメチル☆	1
2011/9/22	厚	農薬 クロルスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 シクロキシジム☆	1
2011/9/22	厚	農薬 ジフェンゾコート☆	1
2011/9/22	厚	農薬 テクナゼン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 ニコスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 マレイン酸ヒドラジド☆	1
2011/9/22	厚	農薬 メトスルフロンメチル☆	1
2011/9/22	厚	農薬 2,4-DB☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 トリベヌロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ピクロラム☆	1
2011/10/11	厚	農薬 フェノキサプロップエチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ブタフェナシル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 フルオメツロン☆	1
2011/10/11	厚	農薬 アトラジン☆	1
2011/10/11	農	農薬 アトラジン (飼料中) ☆	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆	1
2011/11/18	厚	農薬 フェノキシカルブ☆	1
2011/11/18	厚	農薬 プロスルフロン☆	1
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し (オランダ) ②&※	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	1
2012/1/23	農	農薬 エチオン (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 ホレート (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 シハロトリン (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 ジクロルボス及びナレド (飼料中) ☆	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2012/5/21	厚	農薬 トリデモルフ☆	1
2012/5/21	厚	農薬 フラムプロップメチル☆	1
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フルスルファミド☆	1
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルフェンビンホス (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 シマジン (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 パラチオン (飼料中) ☆	1
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆	1
2013/1/30	厚	農薬 シマジン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 エテホン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 オキサミル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 カルフェントラゾンエチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 クロリダゾン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ターバシル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ピリミホスメチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 フルシトリネート☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ホルクロルフェニユロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 メタミトロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 メチダチオン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 レナシル☆	1
2013/3/13	農	農薬 ピリミホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/4/2	厚	プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 ジメトエート (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 メチダチオン (飼料中) ☆	1
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆	1
2013/6/12	厚	農薬 イマザキン☆	1
2013/6/12	厚	農薬 ジウロン☆	1
2013/6/12	厚	農薬 シプロコナゾール☆	1
2013/6/12	厚	農薬 ジメトエート☆	1
2013/6/12	厚	農薬 フルキンコナゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬 イマザモックスアンモニウム塩☆	1
2013/8/20	厚	農薬 ヒメキサゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬 メトリブジン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/8/20	厚	農薬 リニュロン☆	1
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬 ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆	1
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆	1
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/5/14	厚	プリオン スイスから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/5/14	厚	プリオン リヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し&※	1
2015/12/18	消	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し&※	1
2017/4/19	厚	農薬 プレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛の肉及び内臓※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1（食品）■	1
2017/12/20	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1（飼料）■	1
2018/7/4	農	薬剤耐性菌 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%）※再審査■	1
2019/2/27	農	薬剤耐性菌 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）※再審査■	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■	1
2020/2/13	消	肥料・飼料等 ジニトルミド☆	1
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シベルメトリン■	1
2022/8/23	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■	1
2022/8/23	厚	添加物 次亜硫酸ナトリウム■	1
2022/8/23	厚	添加物 二酸化硫黄■	1
2022/8/23	厚	添加物 ピロ亜硫酸カリウム■	1
2022/8/23	厚	添加物 ピロ亜硫酸ナトリウム■	1
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/14	厚	農薬 チオジカルブ及びメソミル☆	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 クロチアニジン■	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 ピペロニルブトキシド☆	1
2022/12/14	農	農薬 アセタミプリド※	1
2022/12/14	農	農薬 クロチアニジン※	1
2022/12/14	農	農薬 ジノテフラン※	1
2022/12/14	農	農薬 チアメトキサム※	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 クロチアニジン■	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 ピペロニルブトキシド☆	1
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/25	農	農薬 グリホサート※	1
2023/3/22	農	農薬 フサライド※	1
2023/8/31	厚	農薬 ジアフェンチウロン〈一部☆〉	2
2023/10/3	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2023/10/3	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2023/11/21	厚	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉	2
2023/11/21	厚	農薬 フルペンチオフェノックス■	1
2023/11/21	農	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉	2
2023/11/21	農	農薬 ピペロニルブトキシド☆	1
2023/12/5	農	遺伝子組換え食品等 ML18456株を利用して生産したカンタキサンチン■	1
2024/2/7	農	農薬 キノクラミン※	1
2024/2/7	農	農薬 フィプロニル※	1
2024/2/7	厚	遺伝子組換え食品等 Saccharomyces cerevisiae NS470 (CBS 615.94) 株を利用して産生された α -ガラクトシダーゼ■	1
2024/2/21	厚	農薬 ペンチオピラド■	1
2024/2/27	農	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF8694株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2024/2/28	厚	かび毒・自然毒 食品中のオクラトキシンAの規格基準の設定についてー	1
2024/7/24	農	農薬 イソプロチオラン※	1
2024/7/24	農	農薬 チアジニル※	1
2024/7/24	農	農薬 ベンゾビシクロン※	1
2024/8/13	消	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT106 (pHYT2PsBG) 株を利用して生産された β -グルコシダーゼ■	1
2024/10/2	消	農薬 ベンジルアデニン■	1
2024/11/27	消	農薬 スピロジクロフェン■	1
2024/11/27	消	農薬 スピロビジオン■	1
2024/11/27	消	農薬 マンジプロバミド■	1
2024/12/3	消	遺伝子組換え食品等 JAPAN011株を利用して生産されたセルラーゼ■	1
2024/12/3	農	遺伝子組換え食品等 半矮性トウモロコシMON94804系統(飼料)■	1
2024/12/11	農	肥料・飼料等 Trichoderma reesei RF5427株を利用して生産されたキシラナーゼを原体とする飼料添加物■	1
2025/1/8	農	動物用医薬品 グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤(フォーセリス注射液)■	1
2025/1/8	農	動物用医薬品 ケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤(ケトフィス)■	1
2025/1/8	消	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6199株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2025/1/22	農	肥料・飼料等 塩酸ロメフロキサシンを有効成分とする馬の点眼剤(ロメワン)(再審査)■	1
2025/1/29	消	農薬 メピコートクロリド■	1
2025/2/10	消	遺伝子組換え食品等 JPA013株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2025/2/10	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズMON94313系統(食品)■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2025/2/10	農	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズMON94313系統 (飼料) ■	1
2025/3/4	消	遺伝子組換え食品等 AH-No. 1株を利用して生産されたL-カルノシン■	1
2025/3/4	消	遺伝子組換え食品等 ILE-No. 2株を利用して生産されたL-イソロイシン■	1
2025/3/5	農	農薬 アラクロール※	1
2025/3/5	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分 (L-グルタミン酸カリウム、マルトース) ※	2
2025/3/12	消	農薬 オキサゾスルフィル■	1
2025/3/12	消	農薬 メプロニル■	1
2025/3/12	消	肥料・飼料等及び農薬 オキシロニック酸 ■	1
2025/3/12	消	肥料・飼料等及び農薬 オキシロニック酸 ■	1
2025/3/18	消	その他 (WG等) グルコン酸銅■	1

239

(注)

- : 食品安全基本法第24条第1項案件 (企業申請を含まない)

☆ : ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※ : 食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■ : 食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件 (平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ)

◎ : 食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2025/1/22～2025/2/20	■ 農薬 イソシクロセラム■	1
2025/1/29～2025/2/27	■ 農薬 シクロピラニル■	1
2025/2/19～2025/3/20	■ 肥料・飼料等 アセチルシステイン■	1
2025/2/19～2025/3/20	■ 肥料・飼料等 アセチルシステインを有効成分とする飼料添加物■	1
2025/2/26～2025/3/27	■ 遺伝子組換え食品等 半矮性トウモロコシMON94804系統（食品）■	1
2025/3/5～2025/4/3	☆ 農薬 クロルタルジメチル☆	1
2025/3/12～2025/4/10	■ 遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2025/3/26～2025/4/24	■ 農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■	2
2025/3/26～2025/4/24	※ 農薬 イミダクロプリド※	1

10

（注）

－：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和6年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2024/4/9	消	器具・容器包装 食品衛生法第18条第1項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）に定める器具及び容器包装の規格を改正することについて（食品用器具・容器包装の材質別規格、用途別規格等の改正について）－	1
2024/4/11	消	遺伝子組換え食品等 LEU-No. 4株を利用して生産されたL-ロイシン■	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール■	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルフィソゾール☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファジメトキシ☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファモノメトキシ☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファジミジン☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファクロルピリダジン☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファジアジン☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファドキシ☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファモイルダブソン☆	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファキノキサリン☆	1
2024/5/15	消	肥料・飼料等 メチオニンを有効成分とする2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステルを飼料添加物として使用した家畜に由来する食品の安全性※	1
2024/5/15	農	肥料・飼料等 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル■	1
2024/5/22	消	肥料・飼料等 アナカルド酸■	1
2024/5/22	農	プリオン 牛肉骨粉等の鶏・豚等飼料への利用－	1
2024/6/11	農	農薬 エスプロカルブ※	1
2024/6/11	消	農薬 エトフェンプロックス■	1
2024/6/26	農	肥料・飼料等 カシューナッツ殻液■	1
2024/6/27	農	遺伝子組換え食品等 JPBL011株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	1
2024/7/23	厚	遺伝子組換え食品等 JPBL015株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ■	1
2024/7/31	農	農薬 フェンメディファム※	1
2024/7/31	消	農薬 マンデストロビン■	1
2024/8/7	厚	遺伝子組換え食品等 PRO-No. 1株を利用して生産されたL-プロリン■	1
2024/8/7	農	動物用医薬品 ワクチン添加剤（二酸化ケイ素、ゲンタマイシン硫酸塩）※	2
2024/8/20	厚	その他（WG等） 食品衛生法施行規則の一部改正について11-1	-
2024/9/10	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（DAS1131）■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和6年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2024/9/10	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (DAS1131) ■	1
2024/10/1	厚	遺伝子組換え食品等 Streptomyces mobaraensis TTG-1株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ■	1
2024/10/8	消	農薬 ヨウ化メチル■	1
2024/10/9	消	農薬 1- ナフタレン酢酸■	1
2024/10/9	消	農薬 カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ■	1
2024/10/9	消	農薬 キノメチオナート■	1
2024/10/9	消	農薬 シフルメトフェン■	1
2024/10/9	消	農薬 ピリベンカルブ■	1
2024/10/9	消	農薬 フルオピラム■	1
2024/10/9	消	農薬 フロメトキン■	1
2024/10/17	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (食品) ■	1
2024/10/17	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (飼料) ■	1
2024/10/23	農	農薬 プロスルホカルブ※	1
2024/10/23	消	農薬 ジンプロピリダズ■	1
2024/10/23	農	肥料・飼料等 遺伝子組換え技術によって得られたTrichoderma reeseiを利用して生産されたフィターゼ■	1
2024/10/23	消	添加物 ゴム、単糖・アミノ酸複合物、シクロデキストリン11-2	3
2024/10/24	厚	動物用医薬品 ジブチルサクシネート☆	1
2024/10/24	厚	動物用医薬品 ノルジェストメット☆	1
2024/10/30	農	農薬 フェリムゾン※	1
2024/11/29	厚	その他 (WG等) 食品衛生法施行規則の一部改正について11-1	-
2024/12/4	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分 (ベンジルペニシリンカリウム) ※	1
2024/12/4	消	農薬 アクリナトリン■	1
2024/12/4	消	農薬 インピルフルキサム■	1
2024/12/4	消	農薬 スルホキサフロル■	1
2024/12/4	消	農薬 フルチアニル■	1
2024/12/18	農	農薬 プレチラクロール※	1
2024/12/18	農	肥料・飼料等 遺伝子組換え技術によって得られたBacillus licheniformisを利用して生産されたアマラーゼ■	1
2024/12/18	消	肥料・飼料等 ジブチルヒドロキシルエンー	1
2024/12/25	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和6年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/1/14	消	器具・容器包装 安全性審査の導入及び第一種特定化学物質の取扱いの変更に伴う食品衛生法（昭和22年法律第233号）第18条第1項の規定により定めた器具及び容器包装の規格基準の改正11-1	1
2025/1/22	農	農薬 ペントキサゾン※	1
2025/1/22	農	農薬 プロパモカルブ※	1
2025/1/22	消	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP51291）（食品）■	1
2025/1/22	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP51291）（飼料）■	1
2025/2/5	農	遺伝子組換え食品等 CRC2836-13885 LVS_ETD MB#2株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2025/2/6	消	農薬 グルホシネート■	1
2025/2/6	消	農薬 ピラジフルミド■	1
2025/2/6	消	農薬 フルアジナム■	1
2025/2/6	消	農薬 フルキサメタミド■	1
2025/2/6	消	農薬 フルピリミン■	1
2025/2/18	環	その他（WG等） 水道により供給される水の水質基準の設定について（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PF0A））11-2	1
2025/2/18	消	その他（WG等） ミネラルウォーター類の規格基準の設定について（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PF0A））11-2	1
2025/2/19	厚	動物用医薬品 プラレトリン■	1
2025/3/13	消	遺伝子組換え食品等 JPTR004株を利用して生産されたセルラーゼ■	1
2025/3/13	消	遺伝子組換え食品等 LDN487株を利用して生産されたプルナーゼ■	1
2025/3/13	消	農薬 クロフェンテジン■	1
2025/3/19	厚	プリオン ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	1
2025/3/19	農	肥料・飼料等 安息香酸を有効成分とする飼料添加物■	1
2025/3/19	農	プリオン 普通肥料の公定規格等の一部変更についてー	1
2025/3/19	消	農薬 イソフェタミド■	1
2025/3/19	消	農薬 ポリオキシン複合体■	1
2025/3/19	消	農薬及び動物用医薬品 プロフラニリド■	1
2025/3/27	消	その他（WG等） グルコン酸亜鉛11-1	-
2025/3/27	農	遺伝子組換え食品等 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づき組換えDNA技術応用飼料及び飼料添加物の安全性に関する確認の検討を定める件（平成14年農林水産省告示第1780号）の改正ー	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和6年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/3/27	農	遺伝子組換え食品等 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づき組換えDNA技術応用飼料及び飼料添加物の製造基準を定める件（平成14年農林水産省告示第1782号）の改正一	1

83

(注)

- : 食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）
- ☆ : ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件
- ※ : 食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件
- : 食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）
- ◎ : 食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件
- 11-1 : 食品安全基本法第11条第1項第1号案件
- 11-2 : 食品安全基本法第11条第1項第2号案件

IV その他（令和6年度）

通知日	通知先	件名
2024/4/9	消・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針（改正）
2024/6/26	消・農	遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針（改正） 遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2024/6/26	農	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方（改正）
2025/3/27	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針（一部改正） 食品を介して人の健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて（一部改正）